

医学教育分野別評価 金沢医科大学医学部医学科 年次報告書
2021 年度

医学教育分野別評価の受審 2018（平成 30）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 ver2. 2

本年時報告書における医学教育分野別評価基準日本版 ver2. 33

本学医学部医学科は、2018 年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2020 年 11 月 1 日より 7 年間の認定期間が開始した。

医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 33 を踏まえ、2021 年度の年次報告書を提出する。なお、本年時報告書に記載した教育活動は、日本医学教育機構の作成要項に則り、2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日を対象としている。また、重要な改定があった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 33 の転記は省略した。

領域：1. 使命と学修成果	項目：1. 1 使命
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的健康、医療の観点を使命の中で明示することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ディプロマ・ポリシーに、以下の内容を定めた。 <p>V. 地域医療・社会貢献・国際貢献</p> <p>4. 医療の国際化に対応できる異文化理解・適応力、コミュニケーション力を持ち、プライマリ・ヘルス・ケアを実践できる。</p>	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使命については、年に 1 度見直しの必要性などについて検討する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1 本学ホームページ掲載画面（3つのポリシー）（PDFデータ） http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine/basic_policy.html 	

領域：1. 使命と学修成果	項目：1.3 学習成果
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の適切な行動については、学則・行動規範等に記載しておくべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・金沢医科大学学生心得を掲載した学生便覧を作成し、冊子にて配布するとともに、本学ホームページに掲載している。該当の条項は以下のとおりである。 <p>(一般心得)</p> <p>第2条 学生は、学内外を問わず良識ある学生として行動し、品位を保ち、本学の名誉を傷つけることのないよう努めなければならない。</p> <p>(身だしなみについて)</p> <p>第16条 学生は本学学生としての品位と体面を保持するように身だしなみを整えること。</p> <p>2 学生は病院実習、研究、実習等の施設内における服装、頭髪等については、当該指導責任者の指示に従うとともに、特に患者に接する時は清潔な着衣を用いるものとし、身だしなみ、言動についても留意しなければならない。</p> <p>(禁止措置等)</p> <p>第28条 本学の学生は、医療人としての倫理感を認識し、規範意識を持たなければならない。学生及び学生団体の行為が次の各号のいずれかに該当する場合、学長はその行為の中止を命じ必要な措置をとることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学則その他の規程に違反した場合 (2) 教育、研究、診療等を妨害した場合 (3) 本学の秩序を乱した場合（犯罪行為、薬物乱用、ハラスメント行為等） (4) 本学敷地内及びその周辺での喫煙行為 (5) 実習等で知り得た個人情報や機密をみだりに開示、漏洩または実習目的以外で使用すること (6) 大学の名誉及び信用を失墜させる行為（ソーシャルメディア関連法令 違反等） (7) 迷惑・危険行為（迷惑駐車、歩きスマホ等） (8) その他学生としての本分に反する行為 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生心得の記載内容を、より指摘事項にそった具体的記載に変更することを検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料2 学生便覧（PDFデータ） 	

領域：1. 使命と学修成果	項目：1.4 使命と成果策定への参画
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果の策定において、市民、患者も含めたより広い範囲の教育の関係者からの意見を反映することが期待される。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より医学教育委員会に市民として、大学と同じ町内にある「道の駅長」が委員として参加するようになった。地域住民の代表として議論に参加いただいている。以前からの委員であるS P研究会会長は患者でもあるが、規程上「患者」を委員としていない。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・医学教育委員会の委員に「患者」を含める計画である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 医学教育委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.2 科学的方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・分析的・批判的思考を涵養する学修機会を6年一貫教育の中で設けるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年「クリティカル・シンキング」「大学基礎セミナー」等において、論理的・批判的思考を学ぶため、講義・資料読解・演習を行っている。 第3学年、「医療プロフェッショナリズムⅢ」の中で主として医療倫理をテーマにした研究プロジェクトを体験し、分析的で批判的思考、科学的手法の原理、医学研究の手法などを学ぶカリキュラムを行なったが、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴うカリキュラム変更などにより、令和3年度以降中断している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度以降、「クリティカル・シンキング」の学習要項にて「分析的・批判的思考を涵養する」ことを明記することを検討する。 ・新たなカリキュラムとして、講座配属による研究プロジェクトの体験、臨床実習中のEBM教育の中で分析的で批判的思考を学ぶプログラムの導入を検討する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料4 学習要項「クリティカル・シンキング」2020年度（PDFデータ） ・資料5 学習要項「大学基礎セミナー」2020年度（PDFデータ） ・資料6 学習要項「医療プロフェッショナリズムⅢ」2020年度（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.4 行動科学と社会医学、 医療倫理学と医療法学
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・6年一貫カリキュラムの中で、系統的に行動科学の教育を実践すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月のカリキュラム変更に伴い、第1学年「医療プロフェッショナルリズム入門」「人の行動と心理」「医療と倫理」「医療と社会」に加え、「医療行動科学」を開講した。 「医療行動科学」では、行動科学・行動医学・心身医学等の知見から患者の行動変容を促すための諸理論やアプローチについて理解し医療者としての関わり方の態度や具体的スキルについて習得することを目指している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年から第5学年において、臨床実習前の教育および臨床実習の中で「行動科学」に関する教育プログラム導入の検討を開始している。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料7 学習要項「医療行動科学」2020年度（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.7 プログラム管理
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに関わる各委員会に学生が実質的に参加すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医学教育委員会、医療人教育カリキュラム評価委員会、カリキュラム検討委員会には受審時より学生代表が参加し、議事録などでも学生の発言が残り実績をつんでいる。 ・教授会前の最終審議を行う教務委員会においても、平成30年度より学生委員が発令され、より実質的に学生が議論に参加できるようになった。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の代表者が学生全体の意見を十分に反映できるようにするために学生の意見収集のシステムについて検討を行う予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 医学教育委員会議事録（PDFデータ） ・資料8 医療人教育カリキュラム評価委員会議事録（PDFデータ） ・資料9 カリキュラム検討委員会議事録（PDFデータ） ・資料10 教務委員会名簿（PDFデータ） 	

領域：2. 教育プログラム	項目：2.7 プログラム管理
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに関わる各委員会、広い範囲の教育の関係者が実質的に参加することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より医療人教育カリキュラム評価委員会及び医学教育委員会に市民として道の駅長が参加するようになった。地域住民の代表として議論に参加している。以前からの委員であるS P研究会会長は患者でもあるが、規程上「患者」を委員の構成員としていない。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療人教育カリキュラム評価委員会の委員構成に「患者」を含める計画である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 医学教育委員会議事録（PDFデータ） ・資料8 医療人教育カリキュラム評価委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：4. 学生	項目：4.1 入試方針と入学選抜
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・アドミッション・ポリシー（入学方針）を定期的に見直すことが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年に「医学部入試制度検討委員会規程」を作成し、アドミッション・ポリシー（入学方針）の見直しを医学部入試制度検討委員会にて行うことを明記した。（資料11） 医学部入試制度検討委員会にて原案を作成し、医学部教授会、常任役員会の審議を経て、アドミッション・ポリシー（入学方針）の作成・変更を随時行っている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・医学部入試制度検討委員会にて原案を作成し、教授会、常任役員会の審議を経て、令和4年度入学生に向けたアドミッション・ポリシー（入学方針）を作成した。（資料1） 現状を継続するとともに、見直す仕組みに問題が生ずれば、医学部入試制度検討委員会で改善策を作成し、関連委員会に提案・改善していく。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料11 金沢医科大学医学部入試制度検討委員会規程（PDFデータ） ・資料1 本学ホームページ掲載画面（3つのポリシー）（PDFデータ） http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine/basic_policy.html 	

領域：4. 学生	項目：4.4 学生の参加
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する各種委員会に学生の代表が参加し、実質的に議論に加わるべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療人教育カリキュラム評価委員会、医学教育委員会、カリキュラム検討委員会には受審時より学生代表が参加し、議事録などでも学生の発言が残り実績をつんでいる。 ・教授会前の最終審議を行う教務委員会においても、令和1年度より学生委員が発令され、より実質的に学生が議論に参加できるようになった。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の代表者が学生全体の意見を十分に反映できるようにするために学生の意見収集のシステムについて検討を行う予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 医学教育委員会議事録（PDFデータ） ・資料8 医療人教育カリキュラム評価委員会議事録（PDFデータ） ・資料9 カリキュラム検討委員会議事録（PDFデータ） ・資料10 教務委員会名簿（PDFデータ） 	

領域：6. 教育資源	項目：6.1 施設・設備
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・安全な低学年からの患者接触プログラムを行うために低学年のインフルエンザワクチンの接種率を上げる工夫をすべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・2018（平成30）年度より、病院実習がない第1～3学年を含めた全学生を対象にインフルエンザ予防接種を行うこととし、費用を全て大学負担とした。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・経年的に全学生を対象に、インフルエンザ予防接種を実施する。 ・令和3年度の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、臨床実習を行う学年は医療従事者枠で、その他の学年は職域接種で対応する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料12 インフルエンザ予防接種案内（PDFデータ） ・資料13 インフルエンザ予防接種結果（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム全体の評価体制は導入されたばかりであり、早急に教育プログラムのモニタを開始すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療人教育カリキュラム評価委員会を、カリキュラムだけではなく教育プログラムのモニタ及び評価を行う「医療人教育プログラムモニタ・評価委員会」へ変更することを検討している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタされているデータは多岐にわたっており、個別の評価や全体の評価を行う部署の明確化を行う方針である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8 医療人教育カリキュラム評価委員会議事録（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室は、計画的で継続的な情報の収集を行い、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、課題の特定と対応について、分析を行うべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、大学評価情報室（IR 室）から学内各部署に依頼し、各種成績データを収集し、蓄積・分析している。IR 室のスタッフも増員し、データ収集後の分析のレベル向上を図っている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定の学年を対象としたスポット的な分析のみならず、長期的・経年的に成績データ等を蓄積し、カリキュラムの有用性・効果の検証につなげていく予定である。 ・学生の個別指導におけるデータ収集と本人や指導教員へのフィードバックのシステムについて検討を開始している。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 14 データ提供依頼文（PDFデータ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員と学生からのフィードバックを系統的に集め、分析し対応する体制を構築すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生からのフィードバックとしては、毎年ユニット毎の教員評価アンケートおよび学年末に学生アンケートを収集しており、その結果を集計し冊子にまとめている。教員からのフィードバックとしては、「学生の不適切と考えられる態度・行為に関する報告」を収集し、指導体制にフィードバックしている。（資料 15、16） ・カリキュラムの変更等、個別の案件については学年代表を通して学生アンケートを随時とり、学年代表、医学部長、教務部長、学年主任（副主任）で協議する体制をとっている。（資料 17） ・第 1 学年に関しては、以前は前期のみ、紙媒体にてアンケートを行っていたが（「大学基礎セミナー」授業開始時）、令和 2 年度からは Google フォームにて、通年で毎週アンケートを行っている。これにより継続的かつ効率的に情報を収集し、必要に応じて第 1 学年担当教員で情報を共有できる体制を構築した。（資料 18） 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価と授業評価の他に、カリキュラム評価について、より詳細なフィードバックを教員と学生から収集するシステムについて検討中である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 15 2020 年度学生アンケート結果（PDF データ） ・資料 16 学生の不適切と考えられる態度・行為に関する報告（PDF データ） ・資料 17 新 3 年カリキュラム説明会スライド（PDF データ） ・資料 18 学生アンケート（第 1 学年）（PDF データ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.3 学生と卒業生の実績
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価情報室で学生と卒業生の実績を継続的に収集し、分析を行うべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、大学評価情報室（IR 室）から学内各部署に依頼し、各種成績データを収集し、蓄積・分析している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に対しての既卒者向けアンケートについて、定期的実施していくため、PC やスマートフォンから回答できるアンケートシステムを開発し実施する予定。集計結果は教務委員会に報告し、カリキュラム等の改善につなげていく予定である。研修病院での実績を収集するシステムを検討中である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 14 データ提供依頼文（PDF データ） 	

領域：7. プログラム評価	項目：7.4 教育の関係者の関与
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムや卒業生の実績について、地域住民や行政機関など他の関連する教育の関係者のフィードバックを求めることが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・本学所在地の行政機関（内灘町）に対して、本学の実施する各種取り組み（カリキュラム等）についてのフィードバックを求め、回答を得た。（資料 19、20） ・平成 30 年度より本学附属病院主催の地域医療懇談会（地元医療関係者との懇談会）及び金沢医科大学病院連携病院会議（北陸 3 県にある連携病院との懇談会）等にて本学の教育体制に関するアンケートを行っている。（資料 21） 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを今後も継続して実施する。 ・地域住民や行政機関からのカリキュラムや卒業生の実績についてのフィードバックを得るシステムについて検討する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 19 内灘町への依頼文書（PDF データ） ・資料 20 内灘町からの回答文書（PDF データ） ・資料 21 学外関係者アンケート結果（PDF データ） 	